

WinC2 取り扱い説明書

2026 年 10 月 14 日

第 2 版

本ソフトウェアは鈴木一也の著作物です。
個人が業務以外で使用することは自由です。
営利目的での使用、販売、配布を禁止します。
プログラム本体の改竄を禁止します。
転載、配布には許諾が必要です。

本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずる直接的または間接的被害について作者は一切の責任を負いません。

1. 概要

本ソフトウェアは、Windows のウインドウ操作を快適にするための軽量ユーティリティソフトです。
タスクバー常駐型で動作し、よく使うウインドウの前面表示や、複数ウインドウの配置を効率化できます。

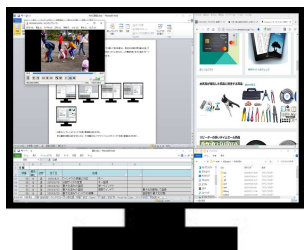
※注意事項

管理者権限で動作しているアプリケーションは、通常権限では操作できない場合があります。
一部の特殊なウインドウやゲーム画面では正常に動作しない場合があります。

1.1. 任意のトップレベルウインドウを常に最前面に表示させる。

通常は「常に手前に表示」機能を持たないアプリケーションでも、本ソフトウェアを使用することで任意のウインドウを常に最前面に表示できます。

動画プレーヤー、チャットツール、監視画面、メモ帳など、常に表示しておきたいウインドウに便利です。



1.2. ショートカットキーによりユーザが指定した特定のトップレベルウインドウを前面に表示させる。

複数のウインドウを開いて作業していると、目的のウインドウが他のウインドウに隠れてしまい、探し直すのが面倒になることがあります。

本機能では、任意のウインドウをショートカットキーに登録できます。

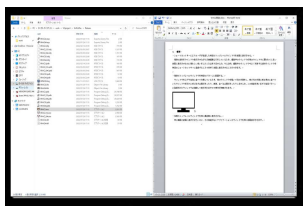
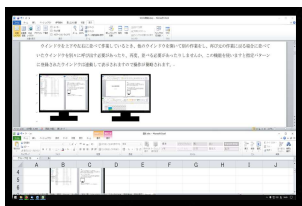
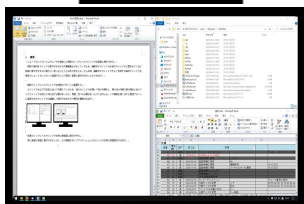
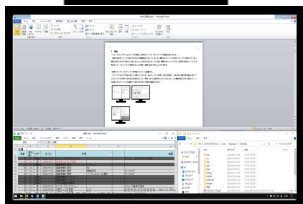
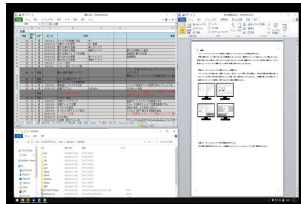
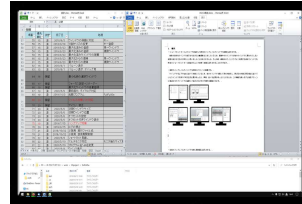
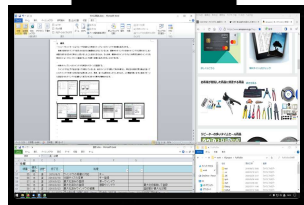
登録したキーを押すだけで、目的のウインドウをすばやく前面に表示できます。

1.3. 複数のトップレベルウインドウを特定のパターン（画面分割）に配置する。

複数のウインドウを上下・左右に並べて作業している際、別の作業を行ったあとに元の配置へ戻すのは意外と手間がかかります。

本機能では、複数ウインドウの配置状態をパターンとして登録できます。

登録したパターンを呼び出すことで、関連するウインドウをまとめて表示・配置でき、作業環境をすばやく復元できます。



2. インストール

- ・ダウンロードした WinC2_200.zip を適当なフォルダで解凍する。

解凍により以下のファイルが生成されるとインストール完了です。(拡張子は表示されないこともあります)

ファイル名	説明	備考
WinC2.exe	WinC2 起動プログラムです。 32/64 ビット OS の判定を行います。	
WinC2_32.exe	32 ビット OS 用の WinC2 です。 64 ビット OS でも使用します ※1	UAC やウイルス対策ソフトによっては悪意あるプログラムと認識されることがあります。※2 その場合は、ウイルス対策ソフトなどで例外設定を行ってください。
WinC32.dll	32 ビット OS 用の DLL です。 キーボードとウインドウメッセージの監視を行います。 64 ビット OS でも使用します。 ※1	↑
WinC2_64.exe	64 ビット OS 用の WinC2 です。	↑
WinC64.dll	64 ビット OS 用の DLL です。 キーボードとウインドウメッセージの監視を行います。	↑
WinC2 取説.pdf	WinC2 の操作説明書 (本ファイル)	
Readme.txt	WinC2 の簡易説明書	

※1 WOW64 という仕組みで 32 ビット OS 用プログラムを 64 ビット OS 上で動かすことができますのですが、32 ビット用プログラムのウインドウメッセージの監視には 32 ビット用の監視 DLL が必要になり、32 ビット用 DLL を使用するには 32 ビット用のプログラムが必要になります。64 ビット環境では 64 ビットと 32 ビットの WinC2 が協調して動作します。

※2 デジタル署名をしていないことや、ショートカットキーの判定のためにキーボードを監視しているので悪意あるプログラムと認識されるようです。

キーボードを監視する DLL は指定されたキー入力のみを監視し、指定キー入力以外は無視しています。

本プログラムは設定値の保存以外のファイル入出力を行っていません。また、ネットワークにアクセスしません。

デジタル署名はユーザ数 (ダウンロード数) が多かった場合に考慮します。

3. 起動

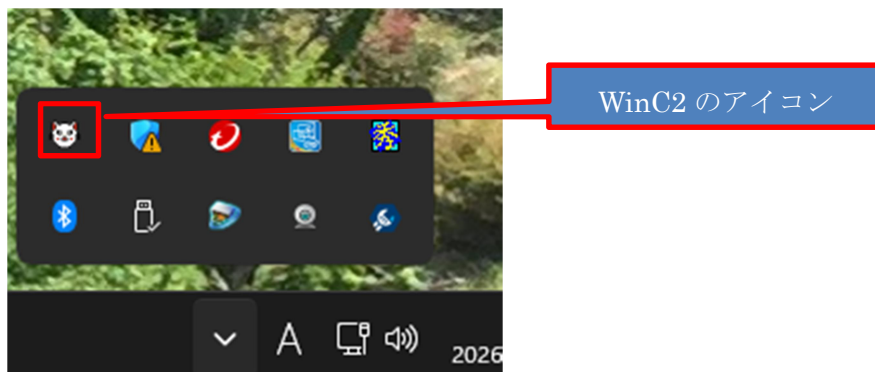
3.1. 起動

- ・解凍された WinC2.exe をダブルクリックして起動させます。
(拡張子.exe は表示されないこともあります。)

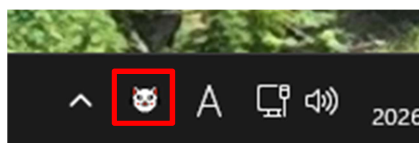
下記のウインドウが表示され、起動完了後に閉じます。



起動完了後、タスクバーの隠れたインジケータに WinC2 のアイコンが表示されます。

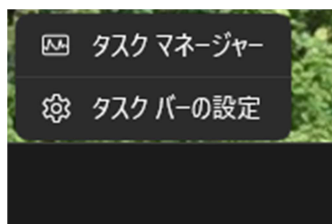


WinC2 の機能を頻繁に使う場合は、タスクバーにアイコンを移動させると便利です。(設定方法は次項)

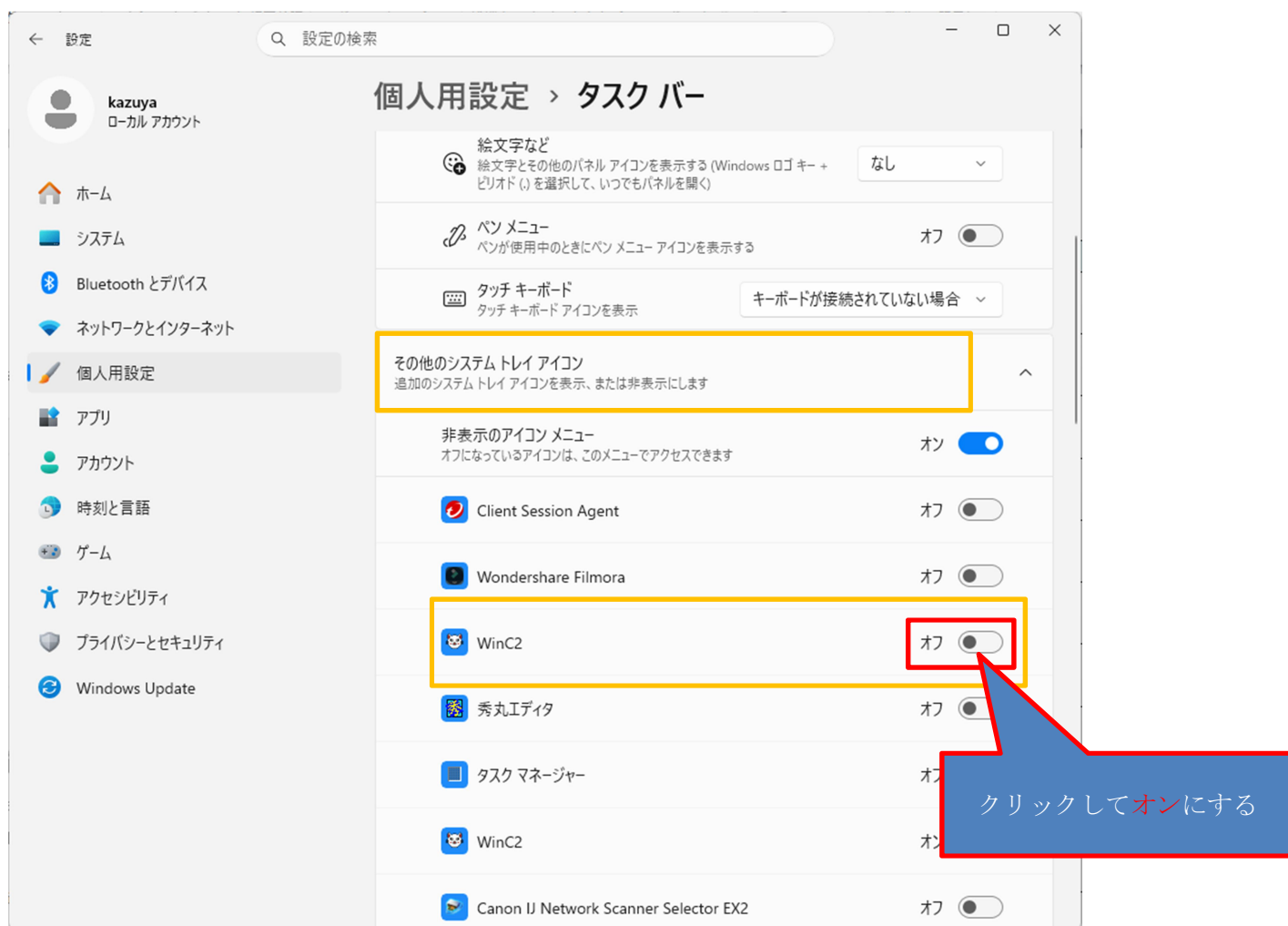


3.2. タスクバーにアイコンを移動

タスクバーを右クリックし、タスクバーの設定を選択します。

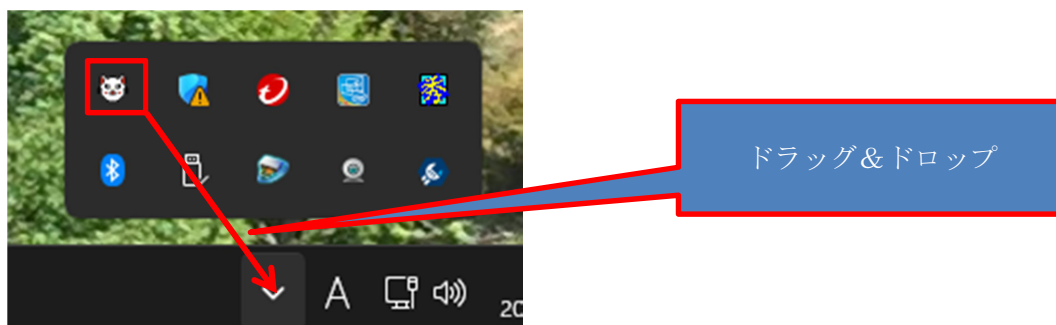


その他のシステムトレイアイコンを選択し WinC2 をオンにして閉じます。



タスクバーに WinC2 のアイコンが表示されます。

表示されない場合は、非表示のインジケータを表示して WinC2 アイコンをタスクバーのインジケータ表示の切り替え部分にドラッグアンドドロップします。

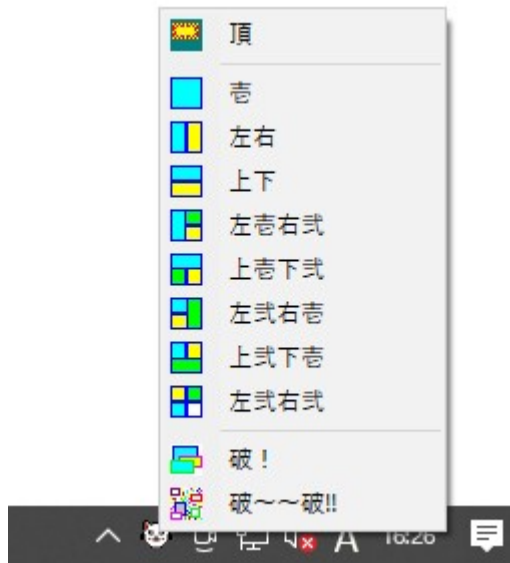


4. 左クリックメニュー

ウインドウの最前面化と複数ウインドウのグループ化

4.1. メニューと動作

WinC2 のアイコンを左クリックすると下記のメニューが表示され、ウインドウをグループ化し指定のパターンに再配置します。
ウインドウの配置パターンはメニュー項目の左のアイコンで視覚的に認識できます。



トップレベルのウインドウがこのメニューの対象になります。対象ウインドウは前面が最優先となり順次優先順位は下がり最背面が最も低い優先順位になります。また、最小化されているウインドウ、サイズ変更ができないウインドウ、および、すでに WinC2 の制御対象になっているウインドウは除外されます。制御対象となったウインドウ（グループ）には1から始まるシリアル番号が与えられ、WinC2 はそのシリアル番号でウインドウ（グループ）を識別します。

次項に動作一覧を示します。

左ボタン クリックメニューの動作

メニュー		動作
	頂	最前面のトップレベルウインドウを常に画面の前面に表示させます。 もう一度選択すると解除します。
	壱	最前面のトップレベルウインドウを WinC2 の制御対象にします。 表示は変わりませんがウインドウに制御用シリアル番号を与えます。
	左右	優先順位の高い 2 つのウインドウをグループ化し、全画面の左右に配置します。 このグループに対してシリアル番号が与えられます。
	上下	優先順位の高い 2 つのウインドウをグループ化し、全画面の上下に配置します。 このグループに対してシリアル番号が与えられます。
	左壱右弐	優先順位の高い 3 つのウインドウをグループ化し、全画面にメニューアイコンの示す形に配置します。 このグループに対してシリアル番号が与えられます。
	上壱下弐	優先順位の高い 3 つのウインドウをグループ化し、全画面にメニューアイコンの示す形に配置します。 このグループに対してシリアル番号が与えられます。
	左弐右壱	優先順位の高い 3 つのウインドウをグループ化し、全画面にメニューアイコンの示す形に配置します。 このグループに対してシリアル番号が与えられます。
	上弐下壱	優先順位の高い 3 つのウインドウをグループ化し、全画面にメニューアイコンの示す形に配置します。 このグループに対してシリアル番号が与えられます。
	左弐右弐	優先順位の高い 4 つのウインドウをグループ化し、全画面にメニューアイコンの示す形に配置します。 このグループに対してシリアル番号が与えられます。
	破	最も前面にあるウインドウグループを制御対象から外し、元の配置に戻します。 シリアル番号は欠番になります。
	破～破!!	頂を除くすべてのウインドウグループを制御対象から外し、元の位置に戻します。 シリアル番号はリセットされ再度 1 から新規グループに与えられます。

※シリアル番号はグループ化されたウインドウを前面に再表示する場合に使用されます。

現状では 1～9 番のグループがショートカットキーやメニューにより前面に表示されます。

シリアル番号 10 以降のグループはウインドウズによるタスクバーからの表示等で前面に表示します。

10 以降のグループのシリアル番号を 1～9 に再設定する方法は後述します。

4.2. 再配置されたウインドウグループのサイズ変更・最大化・最小化・配置変更

単一ウインドウでは通常のウインドウズ操作と変わりありません。

ここでは複数ウインドウによるグループについて説明します。

4.2.1. サイズ変更

グループ化されたウインドウのサイズ変更を分割サイズを変更するとグループ内の他のウインドウも連動してサイズ変更されます。

4.2.2. 最大化

グループ内の各ウインドウは連動せず最大化します。

最大化されていないウインドウのサイズ変更を行った状態で最大化から戻er場合は、サイズ変更後の状態に調整されます。

4.2.3. 最小化

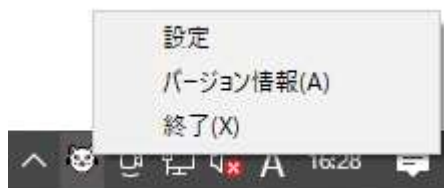
グループ内のウインドウを最小化するとグループ内の他のウインドウも最小化します。再表示も同時に行われます。

4.2.4. 配置変更

変更したいウインドウのタイトルバー（タイトルバーがない場合はそれに類する位置）を配置変更したい方向にドラッグアンドドロップするとウインドウが入れ替わります。ドラッグはほんの少しで十分です。

5. 右ボタン クリックメニュー

WinC2 のアイコンを右クリックすると下記のメニューが表示されます。

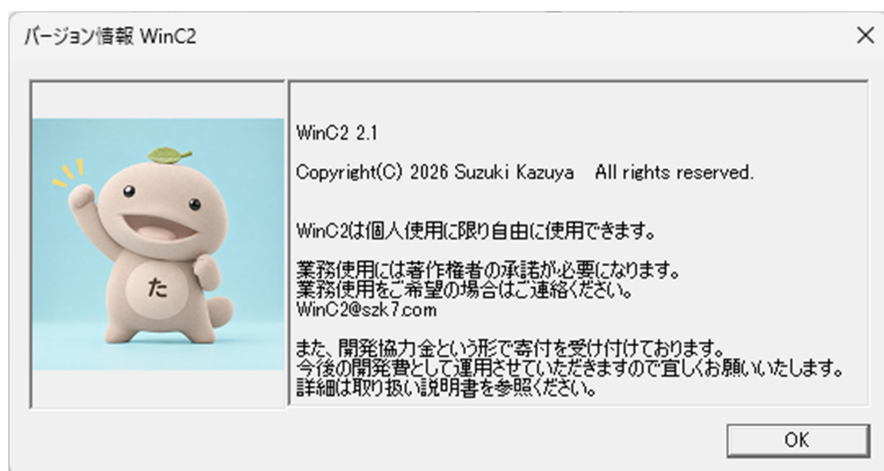


メニュー	動作
設定	設定ダイアログを開き WinC2 の各種設定を行います。
バージョン情報	バージョンと著作権表示を行うダイアログを表示します。
終了	WinC2 を終了させます。

設定ダイアログ



バージョンダイアログ



6. ホイールボタン クリックメニュー



前面に表示されている制御対象ウインドウ（グループ）に1～9の番号付けを行います。

ウインドウ（グループ）の選択で自動で付けられたシリアル番号より優先します。

前面に表示されているウインドウが制御対象でない場合は、制御対象にするとともにこの番号を付加します。

7. WinC2 の設定

右クリックメニューで設定を選択すると下記の設定ダイアログが表示されます

設定 WinC2

一般 | 選択キー | グループ登録 | パターン登録

☐ タスクトレイにアイコンを常時表示

アイコンのダブルクリック時の動作

左ボタン 最前面化

ホイールボタン なし

右ボタン 巻

画面の分割サイズを変更するショートカットキー

	Enable	Sift	Ctrl	Alt	win	Code
→ 右	☒	☐	☐	☒	☒	RIGHT
← 左	☒	☐	☐	☒	☒	LEFT
↑ 上	☒	☐	☐	☒	☒	UP
↓ 下	☒	☐	☐	☒	☒	DOWN

ウインドウ表示オフセット

上 0

左 -7 右 7

下 7

OK キャンセル

タブをクリックして各設定ウインドウを表示させます

タブ	動作	備考
一般	アイコンのダブルクリック時の動作の設定	左ボタン、ホイールボタン、右ボタンの動作を選択します。
	画面の分割サイズを変更するショートカットキーの設定	
	ウインドウ表示オフセットの設定	表示されているウインドウと実際のサイズとのずれの調整
選択キー登録	前面表示するウインドウグループを選択するショートカットキーの設定	シリアルまたはグループ番号による選択
グループ登録	前面に表示されている制御対象ウインドウグループに1～9の番号付けを行うショートカットキーの設定	ホイールボタンメニューに対応
パターン登録	パターンを指定してウインドウグループを登録するショートカットキーの設定	左クリックメニューに対応

7.1. 一般

7.1.1. アイコンダブルクリック時の動作の設定

WinC2 のアイコンをダブルクリックしたときの動作を選択します。

設定 WinC2

一般

選択キー

グループ登録

パターン登録

☐ タスクトレイにアイコンを常時表示

アイコンのダブルクリック時の動作

左ボタン

最前面化

ホイールボタン

なし

右ボタン

𐄂

画面の分割サイズを変更するショートカットキー

	Enable	Sift	Ctrl	Alt	win	Code
右	☒	☐	☐	☒	☒	RIGHT
左	☒	☐	☐	☒	☒	LEFT
上	☒	☐	☐	☒	☒	UP
下	☒	☐	☐	☒	☒	DOWN

ウインドウ表示オフセット

上

0

左

-7

右

7

下

7

OK

キャンセル

左、ホイール、右の各ボタンに設定できます。設定できる動作は以下になります。

選択肢	動作
なし	無視
最前面化	前面のウインドウを常に前面に表示します。再度のダブルクリックで解除します。
戻る	直前に表示されていたウインドウグループの再表示を行います。
順送り	表示されているウインドウグループの次のシリアル番号のウインドウグループを表示します。
逆送り	表示されているウインドウグループの前のシリアル番号のウインドウグループを表示します。
𐄂	左ボタン クリックメニューの動作と同じです。
左右	
上下	
左𐄂右𐄂	
上𐄂下𐄂	
左𐄂右𐄂	
上𐄂下𐄂	
左𐄂右𐄂	
1 グループ破棄	
全グループ破棄	

7.1.2. 画面分割のサイズを変更するショートカットキーを設定します。

前面に表示された複数ウィンドウの画面分割のサイズを変更するキーを設定します。



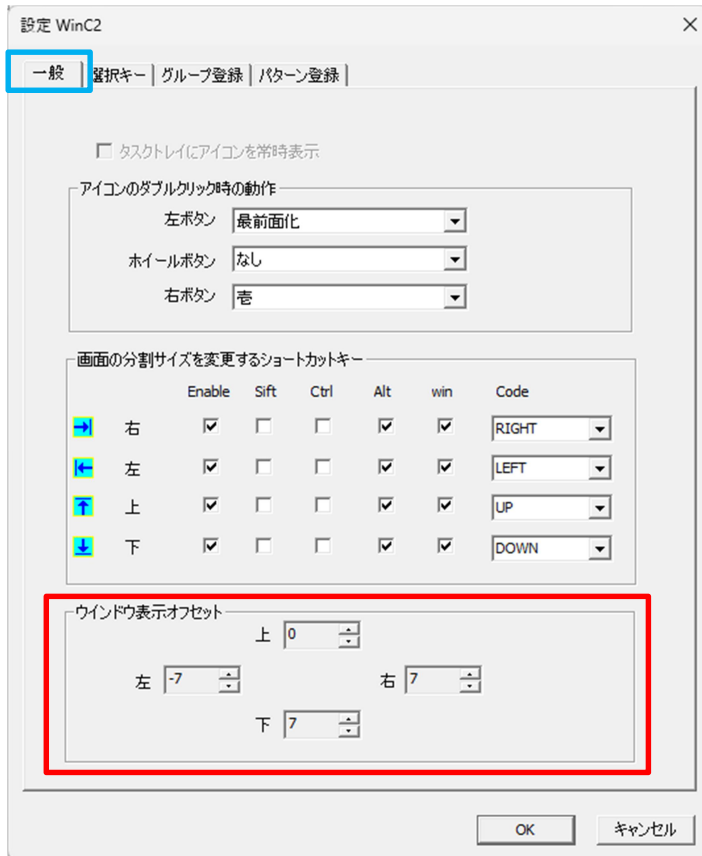
画面分割の境界を上下左右に移動させるショートカットキーを設定します。

下記に示す項目をそれぞれのキーに設定します。

項目名	説明
Enable	ショートカットキーの有効・無効の設定。チェックを入れると有効です。
Sift	Sift キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Ctrl	Ctrl キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Alt	Alt キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Win	Windows キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Code	キーを選択します。選択肢にないキーは 10 進数でバーチャルキーコードを入力します。

7.1.3. ウィンドウ表示オフセットの設定

表示されているウィンドウと実際のサイズとのずれの調整



Windows10/11 の場合、表示されているウィンドウのサイズと実際のサイズにずれがあります。

このずれを上下左右のオフセットで調整します。

7.2. 選択ショートカットキー登録

前面表示するウインドウグループを選択するショートカットキーの設定



設定できるショートカットキーは下記になります。

名称	動作
基	制御対象ウインドウを最小化します。(頂は除く)
次	前面に表示されているウインドウグループの次のウインドウグループを前面に表示します。
前	前面に表示されているウインドウグループの前のウインドウグループを前面に表示します。
戻る	直前に前面に表示されていたウインドウグループを前面に表示します。
壱群 ～ 九群	対応するウインドウグループの番号、または、シリアル番号のウインドウグループを前面に表示します。

各キーには下記に示す項目をそれぞれ設定します。

項目名	説明
Enable	ショートカットキーの有効・無効の設定。チェックを入れると有効です。
Sift	Sift キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Ctrl	Ctrl キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Alt	Alt キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Win	Windows キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Code	キーを選択します。選択肢にないキーは 10 進数でバーチャルキーコードを入力します。

7.3. グループ番号登録ショートカットキー

前面に表示されている制御対象ウインドウグループに 1 ～ 9 の番号付けを行うショートカットキーの設定

		Enable	Sift	Ctrl	Alt	win	Code
1	壹群	☒	☐	☒	☐	☒	"1"
2	貳群	☒	☐	☒	☐	☒	"2"
3	参群	☒	☐	☒	☐	☒	"3"
4	四群	☒	☐	☒	☐	☒	"4"
5	五群	☒	☐	☒	☐	☒	"5"
6	六群	☒	☐	☒	☐	☒	"6"
7	七群	☒	☐	☒	☐	☒	"7"
8	八群	☒	☐	☒	☐	☒	"8"
9	九群	☒	☐	☒	☐	☒	"9"

壹群～九群のウインドウグループ番号設定ショートカットキーが設定できます。

各キーには下記に示す項目をそれぞれ設定します。

項目名	説明
Enable	ショートカットキーの有効・無効の設定。チェックを入れると有効です。
Sift	Sift キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Ctrl	Ctrl キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Alt	Alt キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Win	Windows キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Code	キーを選択します。選択肢にないキーは 10 進数でバーチャルキーコードを入力します。

7.4. パターン指定ショートカットキー

パターンを指定してウインドウグループを登録するショートカットキーの設定



左クリックメニューに対応するショートカットキーが設定できます。

各キーには下記に示す項目をそれぞれ設定します。

項目名	説明
Enable	ショートカットキーの有効・無効の設定。チェックを入れると有効です。
Sift	Sift キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Ctrl	Ctrl キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Alt	Alt キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Win	Windows キーと同時に押下する設定。チェックを入れると有効です。
Code	キーを選択します。選択肢にないキーは 10 進数でバーチャルキーコードを入力します。

8. ショートカットキーの競合

Windows や他のアプリケーションで設定されたショートカットキーと WinC2 のショートカットキーが競合する場合は、Winc2 の設定でショートカットキーを変更または無効にすることで回避できます。一応、WinC2 のショートカットキーが優先されるように作成したつもりですが、環境により変わることも考えられます。

WinC2 の内部設定が競合した場合は、内部のショートカットキー検索テーブルの登録順でどちらが優先されるかが決定します。競合しない前提で作成していますので、競合しないように設定してください。

9. 強制終了 (CTRL+WIN+ESC)

Ctrl キーと Windows キーを押しながら ESC キーを押しますと WinC2 を強制的に終了させることができます。

10. 設定値

10.1. 初期設定値

ショートカットキー

機能	enable	shift	ctrl	alt	win	key
順送り	○				○	+
逆送り	○				○	-
戻る	○				○	Pause
ホーム	○				○	0
グループ1選択	○				○	F1
グループ2選択	○				○	F2
グループ3選択	○				○	F3
グループ4選択	○				○	F4
グループ5選択	○				○	F5
グループ6選択	○				○	F6
グループ7選択	○				○	F7
グループ8選択	○				○	F8
グループ9選択	○				○	F9
グループ1登録	○		○		○	F1
グループ2登録	○		○		○	F2
グループ3登録	○		○		○	F3
グループ4登録	○		○		○	F4
グループ5登録	○		○		○	F5
グループ6登録	○		○		○	F6
グループ7登録	○		○		○	F7
グループ8登録	○		○		○	F8
グループ9登録	○		○		○	F9
分割サイズ 右へ	○			○	○	→
分割サイズ 左へ	○			○	○	←
分割サイズ 上へ	○			○	○	↑
分割サイズ 下へ	○			○	○	↓
パターン1で登録	○		○	○		1
パターン2	○		○	○		2
パターン3	○		○	○		3
パターン4	○		○	○		4
パターン5	○		○	○		5
パターン6	○		○	○		6
パターン7	○		○	○		7
パターン8	○		○	○		8
パターン9 破	○		○	○		9
パターン0 全破	○		○	○		0

タスクバーアイコンのダブルクリックとウインドウ表示オフセット

設定項目	設定値
左ボタンダブルクリック	最前面化のON／OFF
ホイールボタンダブルクリック	なし
右ボタンダブルクリック	☑ 最前面のウインドウを制御対象にします。
ウインドウ表示オフセット 上	0
ウインドウ表示オフセット 左	-7
ウインドウ表示オフセット 下	7
ウインドウ表示オフセット 右	7

10.2. 設定値の保存先

WinC2 の設定は Windows の一般的なアプリケーションの設定値保存フォルダに保存されます。通常は下記の場所になります。

フォルダ：C:\Users\<ユーザ名>\AppData\Roaming\WinC2

ファイル：WinC2.ini

設定値を初期状態のまま使用している場合は、上記ファイルは作成されないこともあります。

設定値を初期状態に戻すには上記ファイルを削除します。

また、設定値を他のパソコンと共通にする場合はこのファイルを対象パソコンの保存先にコピーします。

11. バージョンアップ予定

いつになるかわかりませんが、次回のバージョンアップで予定している機能を列挙しておきます。

- ・ヴァーチャルデスクトップ対応
- ・ウインドウをn行m列に配置する。n、mはそれぞれ1以上の整数
- ・今は画面全体に配置しているが、複数ウインドウを結合したまま1つのサイズ変更が可能なウインドウのように表示。
- ・常に前面に表示するウインドウの複数化、解除方法を模索中
- ・ランチャー機能 ショートカットキーとアプリケーションの関連付け
- ・ウインドウの配置位置の編集

12. 寄付歓迎

WinC2は個人利用に限り無償で使用していただけますが、開発協力金という形で寄付の受付を行っています。

寄付いただいた開発協力金はソフトウェア開発費として運用させていただきます。

今後の開発の励みにもなりますのでよろしくお願いいたします。

寄付方法

下記の指定銀行口座にお振込み願います。金額は指定いたしません。お客様にて価値を決めてください。

京葉銀行（金融機関コード 0522）

新検見川(シヅカガリ)支店(417)

口座種別 普通

口座番号 3088771

口座名義 スズキ カズヤ

ご注意：業務使用は寄付の有無に関係なく禁止します。別途、著作権者の許可が必要です。

<mailto:Winc2@szk7.com>